

小・中・義務教育学校長研修

全ての児童生徒の「主体的な学び」の 実現に向けて

広島県教育委員会事務局
学びの変革推進部
義務教育指導課

広島版「学びの变革」アクション・プラン 平成26年12月策定(10年先を見据えた施策展開)

これまでの「知識ベースの学び」に加え、「これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成」を目指した主体的な学び」を促す教育活動を推進

【義務教育段階の取組の“大きな流れ”と“現在地”】(イメージ)

第一期
(H27～29)

H27～29
パイロット校事業

授業改善の推進(「課題発見・解決学習」等の実践)

- 指定校による
単元開発・実践

学力に大きな課題があり、個別支援の手立てを必要としている児童生徒がいるのではないかな?

一斉指導を前提とするカリキュラムでは、主体的に学ぶことが難しい児童生徒がいるのではないかな?

第二期
(H30～R2)

H30～ 全県展開
市町「学びの变革」推進協議会を中心に

- 全教員が一単元以上実践
- カリキュラム・マネジメント

学びのセーフティネット構築事業

学力に課題がある児童生徒の支援

- ① 「新たな学力調査」の開発
- ② 学力フォローアップ校事業
- ③ 中学校学力向上推進地域

個々の状況や興味・関心に
応じた学びの場の提供

★ 個別最適な学び担当の設置(R1)

- ・SSR等の不登校対策
- ・「東大ROCKETin広島」
- ・実証研究事業 他

第三期
(R3～5)

第二期までの課題に
応じた重点的な取組

★不登校支援センターの設置(R3)

- I 本質的な問いによる授業改善
- II キャリア教育の充実
- III 個別最適な学びの実現
- IV 様々な変化や課題への対応

- ・外国語教育の推進
- ・教科担任制
- ・小学校低学年からの学習支援
- ・デジタル機器の活用 他

前に進み続ける「仕組み」作り

～学校の自走・自律を支援するツール～

- ① カリキュラム・マネジメント・シート
- ② 「学びの变革」授業参観シート

“15歳の生徒に付けておいて
もらいたい力”の育成に向けて

全ての児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現

学習指導要領の全面実施、GIGAスクール構想、「令和の日本型教育」が示すこれからの学びの方向性
等を踏まえた教育実践を推進

新型コロナウイルス感染拡大防止

令和6・7年度「学びの変革」の“深化”

「**学びの変革**」の“**深化**”とは、第一期から第三期までの取組を基にしながら、児童生徒の実態に応じて、創意工夫したカリキュラムを実施するなど、**各学校が更に主体的に**
「学びの変革」に取り組んでいる状態を指す。

令和6・7年度「学びの変革」の“深化”

「**学びの変革**」の“**深化**”とは、第一期から第三期までの取組を基にしながら、児童生徒の実態に応じて、創意工夫したカリキュラムを実施するなど、**各学校が更に主体的に**
全ての児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に
向けて取り組んでいる状態を指す。

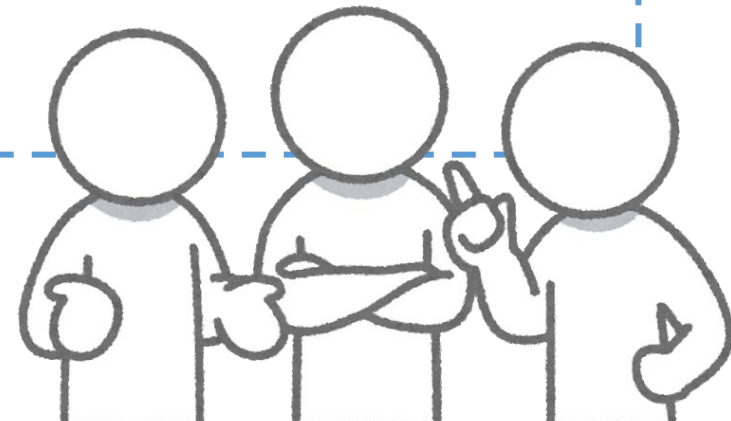
全ての児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す「学びの変革」の“深化”へ

3 分間ダイアログ

新年度、どんなことに取り組もうと思いますか？

令和6・7年度「学びの変革」の“深化”

「**学びの変革**」の“**深化**”とは、第一期から第三期までの取組を基にしながら、児童生徒の実態に応じて、創意工夫したカリキュラムを実施するなど、**各学校が更に主体的に**
全ての児童生徒の「主体的、対話的で深い学び」の実現に
向けて取り組んでいる状態を指す。



令和6・7年度「学びの変革」の“深化”に向けた2つの柱

1

カリキュラム・授業づくり



- 全ての学校におけるカリキュラム・マネジメントの充実に向けた支援
- 市町教育委員会の主体的な取組を支援
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組の更なる推進

令和7年度の重点

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、一人1台端末の更なる活用を図ります。

2

深化を支える基盤となる
人材育成



- 各市町教育委員会の「学びの変革」推進協議会や研修等の充実ににより若手の教員の力量を向上
- 各市町教育支援センター等と広島県教育支援センターとのネットワーク
- 広島県立教育センター等における研修の充実・強化

令和7年度の重点

中堅層をターゲットにした地域、校内の研究を推進する人材を育成します。

「学びの変革」により目指す姿

全ての学校が、児童生徒の「主体的な学び」の実現に向け、カリキュラム・マネジメントに自律的・組織的に取り組み、児童生徒の資質・能力が着実に育成されています。

令和6・7年度「学びの変革」の“深化”に向けた2つの柱

1

カリキュラム・授業づくり



- 全ての学校におけるカリキュラム・マネジメントの充実に向けた支援
- 市町教育委員会の主体的な取組を支援
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組の更なる推進

令和7年度の重点

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、一人1台端末の更なる活用を図ります。

2

深化を支える基盤となる
人材育成



- 各市町教育委員会の「学びの変革」推進協議会や研修等の充実ににより若手の教員の力量を向上
- 各市町教育支援センター等と広島県教育支援センターとのネットワーク
- 広島県立教育センター等における研修の充実・強化

令和7年度の重点

中堅層をターゲットにした地域、校内の研究を推進する人材を育成します。

「学びの変革」により目指す姿

全ての学校が、児童生徒の「主体的な学び」の実現に向け、カリキュラム・マネジメントに自律的・組織的に取り組み、児童生徒の資質・能力が着実に育成されています。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

一体的に
充実

授業外の
学習の改善

資質・能力の育成

学習内容の確実な定着

自ら学習を調整

必要に応じた
重点的な指導、
指導方法等の工夫

各々の特性・学習
進捗・学習到達度等

指導の個別化

個別最適な学び（教師視点では「個に応じた指導」）

修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視
の考え方を生かす

学習を深め、広げる

自ら学習を調整

一人一人に
応じた学習活動・
学習課題の提供

各々の興味・関心・
キャリア形成の方向性等

学習の個性化

異なる考え方が組み合わせり
よりよい学びを生み出す



多様な
他者と協働

一人一人の
よい点・可能性

協働的な学び

クラスメイト



異学年・他校の子供



地域の人



専門家



等

履修主義
の考え方を生かす

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

3 分間ダイアログ

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実とは？

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

一体的に
充実

授業外の
学習の改善

資質・能力の育成

学習内容の確実な定着

自ら学習を調整

必要に応じた
重点的な指導、
指導方法等の工夫

各々の特性・学習
進捗・学習到達度等

指導の個別化

個別最適な学び (教師視点では「個に応じた指導」)

修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視
の考え方を生かす

学習を深め、広げる

自ら学習を調整

一人一人に
応じた学習活動・
学習課題の提供

各々の興味・関心・
キャリア形成の方向性等

学習の個性化

異なる考え方が組み合わせ
よりよい学びを生み出す



多様な
他者と協働

一人一人の
よい点・可能性

協働的な学び

クラスメイト



異学年・他校の子供



地域の人



これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな学びを拓き、持続可能な社会の担い手となることを目指す

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

実際の学校における授業づくりに当たっては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素が組み合わさって実現されていくことが多いと考えられます。例えば授業の中で「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していくことが大切です。その際には、**児童生徒の資質・能力育成のため、各教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、ICTを活用した新たな教材や学習活動等も積極的に取り入れつつ、それにより実現される新しい学習活動について、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の充実に効果を上げているか確認しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげていくことが期待されます。**

子供が興味・関心や能力・特性等に応じて自ら教材・方法・ペース等を選択できる学習環境を教師が適切にデザインすることなど、**学習者が主体的に学ぶ中で自ら学習を調整しつつ資質・能力を身につけることの重要性やその中で教師が発揮すべき指導性**について、具体的に議論し、位置付けを検討すべき。

多様な個性・特性を有する全ての子供に資質・能力を育成する上で子供一人一人を見取り、適切な指導や関わりを行う教師の指導性はより積極的かつ高度なものが求められるし、時には教師が主導することが重要な場面もある。「教師は教えなくてもいい」「全て子供に委ねればよい」といった誤ったメッセージとして伝わることのないよう、最大限の注意を払うべき。

「学びの変革」授業参観シートをアップデート

各学校における全ての児童生徒の主体的な学びを目指し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を踏まえ、「広島版「学びの変革」授業参観シート(令和6年度ver)」を作成しました。

校内研修(授業研究)や管理職による日頃の授業参観の際に、**授業で見られた児童生徒の具体的な姿**を取り上げ、その後の協議や授業者への指導助言等に活用してください。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を踏まえ、
「主体的・対話的で深い学び」の授業改善から期待される児童生徒の姿

【意欲の喚起・学習の見通し】

- ☐ 児童生徒は、学習課題を自分事として捉え、見通しをもって授業に参加している。

【学び方の選択】

- ☐ 児童生徒は、興味・関心に応じた課題を設定して学んでいる。
- ☐ 児童生徒は、自分に合った学び方、教材、学習時間などを選択して学んでいる。

【他者との考えの交流】

- ☐ 児童生徒は、友達と話し合ったり、異なる視点から考えたりしている。
- ☐ 児童生徒は、自分の考えを深めたり、広げたりしている。

【学習の振り返り・学習の調整】

- ☐ 児童生徒は、学習を振り返り、学んだことや学び方について表現している。
- ☐ 児童生徒は、自分の学習を調整し、粘り強く取り組んでいる。

【教科等の本質】

- ☐ 児童生徒が、教科等固有の「見方・考え方」を働かせながら、単元を通して深く思考するよう、単元(題材)の構成を工夫している。

【一人1台端末の活用】

- ☐ 児童生徒は、デジタル機器を活用しながら、学習課題の解決に取り組んでいる。

「学びの変革」授業参観シートをアップデート

各学校における全ての児童生徒の主体的な学びを目指し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を踏まえ、「広島版「学びの変革」授業参観シート(令和6年度ver)」を作成しました。

ポイント①

管理職による日頃の授業参観や校内研修(授業研究)でも活用できるように項目数を精選しました。

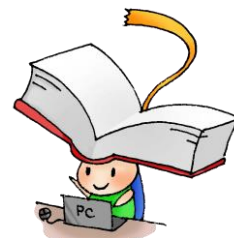
ポイント②

「個の学び」に焦点化し、具体的な児童生徒の姿を記録するようにしました。

ポイント③

一人1台端末の活用について、児童生徒がどの場面で活用し、どのように学んでいるのかを把握できるようにしました。

広島版「学びの変革」授業参観シート(令和6年度 ver)			
1 授業評価表			
日時・学年・学校(児童生徒数)		□月 □日(□) □校時 年 □組(○○名)	
教科等・単元(題材)名			
授業者		参観者	
本時の目標			
本時における児童生徒の姿		一人1台端末の活用	【メモ】具体的な児童生徒の姿、教師の手立て
【意欲の喚起・学習の見通し】 ○学習課題を自分事として捉え、見通しをもって授業に参加している。			
【学び方の選択】 ○興味・関心に応じた課題を設定して学んでいる。 ○自分に合った学び方、教材、学習時間などを選択して学んでいる。			
【他者との考えの交流】 ○友達と話し合ったり、異なる視点から考えたりしている。 ○自分の考えを深めたり、広げたりしている。			
【学習の振り返り・学習の調整】 ○学習を振り返り、学んだことや学び方について表現している。 ○自分の学習を調整し、粘り強く取り組んでいる。			
本単元(題材)の構成等について			
【教科等の本質】 ○児童生徒が、教科等固有の「見方・考え方」を働かせながら、単元を通して深く思考するよう、単元(題材)の構成を工夫している。			
2 今後の授業改善に向けた授業者への助言【メモ】			



本時の詳細について

本時は、13時間の8時間目に位置付いています。

これまで、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解したり、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けて理解したりする学習活動を行っています。

本時は、これまでの既習事項を活用して、バラバラになった天気図と気象データを根拠を示して結び付け、表現する学習活動が計画されています。

本時の目標

天気図と気象データを関連付け、天気の様子を分析して表現することができる。

学習課題

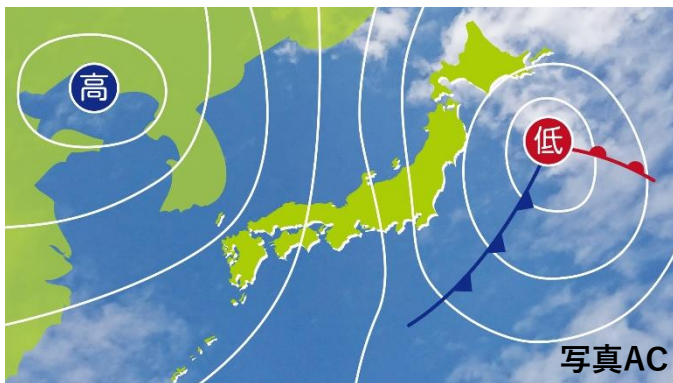
誤ってバラバラになった6日分の天気図と気象データを根拠を示して結び付けよう

働かせたい見方・考え方

時間的・空間的な視点

比較する、関係付ける、多面的に考える

天気図A



天気図B



天気図C



天気図D



天気図E



天気図F



気象データ①

時	気圧	降水量	気温	風速	風向	天気
1	980	0.5	28	6.1	東北東	
2	977	0.0	28	5.6	東	
3	976	4.0	26	2.7	東	●
・						
・						
・						

データ②

データ③

データ④

データ⑤

データ⑥

※気象データについては、気圧、降水量、気温、湿度、風速・風向、日照時間、天気等を1日（24時間）分を示している

5 分間ダイアログ

教師の手立てに着目して、考えてみましょう！

【他者との考えの交流】

○児童生徒は、友達と話し合ったり、異なる視点から考えたりしている。

- ・ □□さんは、気温や風向の変化、雨の降り方と寒冷前線の通過を関係付けて説明していた。それを聞いた ■■さんは「時間の経過に合わせて説明していたり、前線の断面図を見せて、雲の様子を上からだけでなく横からイメージできるようにしたりしていて、分かりやすかった。」と □□さんに伝えた。

Q なぜ、□□さんと■■さんの交流が進んだのでしょうか？



Q なぜ、□□さんと■ ■さんの交流が進んだのでしょうか？
教師の手立てに着目して、考えてみましょう。

- ・ 個々のプレゼンテーションの内容を見て、必要な資料を提示したり、交流する相手を促したりするなど、個別の支援をしていた。
→ 交流する相手をマッチングすることにより、議論がかみ合ったのではないかな？
- ・ 今回働かせる見方・考え方（時間的・空間的視点）を提示し、意識させていた。
→ 見方・考え方を明示したことで、生徒が意識して活用することができたのではないかな？
- ・ 単元を通して、生徒に対し「天気を予報する会社の新入社員」という設定を行い本時では「誤ってバラバラになった6日分の気象データと天気図を根拠を示して結び付ける」という実社会と関連付けた課題を示した。
→ 学びを自分事として捉える工夫をしたため、生徒が進んで課題解決に取り組んだのではないかな？

【学習の振り返り・学習の調整】

○児童生徒は、学習を振り返り、学んだことや学び方について表現している。

- ・ □□さんは「今日は天気図と気象データを根拠を示して結び付けた。時間の経過による前線の動きを矢印で表し、広島県を上から見たときと横から見た時のイメージを説明に加えた。■■■さんに、時間的・空間的視点で工夫した点を分かりやすいと言われて嬉しかった。」と記述していた。

【意欲の喚起・学習の見通し】

○学習課題を自分事として捉え、見通しをもって授業に参加している。

- ・単元を通して、生徒に対し「天気を予報する会社の新入社員」という設定を行い、本時では「誤ってバラバラになった6日分の気象データと天気図を根拠を示して結び付ける」という実社会と関連付けた課題を示したことにより、問いの追究へ意欲的に取り組む姿が見られた。

□□さんは、自分から進んで、端末上のAの天気図を拡大し、低気圧と高気圧を○で囲んで、「冬」とメモをしていた。そして、**気象データの気温の部分に着目して**、①～⑥の気象データをスクロールし、「Aの天気図は西高東低の冬型の気圧配置だから、比較的1日を通して気温が低い②よね。」と■■さんに確認していた。

→見通しをもつことができていた。

▲▲さんは、どのように取り組めばよいか分からずにいたが、○○さんの「①のデータは、1日中雨が降り続けているから、天気図には停滞前線があるはずだ。」という考えを聞いて、気象データの降水量と天気図の停滞前線の関係に気付き、**データや天気図のどこを見てどのように判断すればよいのか、つかめたようだった。**

→見通しを他者と交流させたことが効果的だった。

【学び方の選択】

- 興味・関心に応じた課題を設定して学んでいる。
- 自分に合った学び方、教材、学習時間などを選択して学んでいる。
- ・白紙のプレゼンテーションソフトを配付し、自分の考えをまとめさせ、それを他者がいつでも参照できる環境を整えていた。

□□さんは、**時間的・空間的視点を意識し**、天気図に寒冷前線によって雨が降る範囲（斜線）と寒冷前線の動き（矢印）を書き足していた。さらに寒冷前線が通過するときの断面図を**過去のフォルダからコピーして、スライドに貼りつけていた。**

- 他者参照等をうまく活用していた。
- 見方・考え方を働かせていた。

▲▲さんは、1枚目のスライドに①のデータとEの天気図を横に並べていた。次に、台風のある天気図Cを貼り付けた。そこで、**クラウド上にある過去の振り返りシートや資料を見て**、台風の天気の特徴を確認し、該当するデータはどれか探し、⑤の天気図を選んでいた。

- 他者参照等をうまく活用していた。

令和6・7年度「学びの変革」の“深化”に向けた2つの柱

1

カリキュラム・授業づくり



- 全ての学校におけるカリキュラム・マネジメントの充実に向けた支援
- 市町教育委員会の主体的な取組を支援
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組の更なる推進

令和7年度の重点

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、一人1台端末の更なる活用を図ります。

2

深化を支える基盤となる
人材育成



- 各市町教育委員会の「学びの変革」推進協議会や研修等の充実ににより若手の教員の力量を向上
- 各市町教育支援センター等と広島県教育支援センターとのネットワーク
- 広島県立教育センター等における研修の充実・強化

令和7年度の重点

中堅層をターゲットにした地域、校内の研究を推進する人材を育成します。

「学びの変革」により目指す姿

全ての学校が、児童生徒の「主体的な学び」の実現に向け、カリキュラム・マネジメントに自律的・組織的に取り組み、児童生徒の資質・能力が着実に育成されています。

教員の力量向上に必要な２つの視点

- 技術的な熟達
- リフレクション（振り返り）

教員の力量向上に必要な2つの視点

- 技術的な熟達
- リフレクション（振り返り）

事実をもとに実践を振り返り、本当にこれでよかったのかと前提を問い直し、次はどうしようかと考えて実践する「省察的实践」が重要になります。振り返りをしながら実践を重ねていくことで日常的に新しい選択肢を増やしていく必要があるのです。

教員の力量向上に必要な2つの視点

- 技術的な熟達
- リフレクション（振り返り）

事実をもとに実践を振り返り、本当にこれでよかったのかと前提を問い直し、次はどうしようかと考えて実践する「省察的实践」が重要になります。振り返りをしながら実践を重ねていくことで日常的に新しい選択肢を増やしていく必要があるのです。



若手が振り返りと実践のサイクルを日常的に行えるように支援する

教員の力量向上に必要な2つの視点

- 技術的な熟達

- リフレクション（振り返り）

事実をもとに実践を振り返り、本当にこれでよかったのかと前提を問い直し、次はどうしようかと考えて実践する「省察的实践」が重要になります。振り返りをしながら実践を重ねていくことで日常的に新しい選択肢を増やしていく必要があるのです。



若手が振り返りと実践のサイクルを日常的に行えるように支援する

（例）授業の事後協議において

「ここはこうしたほうが良かった」という指導

教員の力量向上に必要な2つの視点

- 技術的な熟達
- リフレクション（振り返り）

事実をもとに実践を振り返り、本当にこれでよかったのかと前提を問い直し、次はどうしようかと考えて実践する「省察的实践」が重要になります。振り返りをしながら実践を重ねていくことで日常的に新しい選択肢を増やしていく必要があるのです。



若手が振り返りと実践のサイクルを日常的に行えるように支援する

（例）授業の事後協議において

「ここはこうしたほうが良かった」という指導

「この場面で何を考えていたのか？」という問いかけ

→本人が気づきを得るための質問を繰り返す

「若手教員の育成できる学校組織のあり方とは」

教職員育成の前提として、教職員間のコミュニケーションが豊かであることが重要

バーナード「組織の3要素」

- 共通目的（ゴールとビジョン）
- 貢献意欲
- コミュニケーション

「若手教員の育成できる学校組織のあり方とは」

教職員育成の前提として、教職員間のコミュニケーションが豊かであることが重要

バーナード「組織の3要素」

- 共通目的（ゴールとビジョン）
- 貢献意欲
- コミュニケーション



- ・ 「学校教育目標」や「育成すべき資質・能力」を教職員で共有していますか？
- ・ 教職員は、教育研究について、なぜ、取り組むのかを理解していますか？

「若手教員の育成できる学校組織のあり方とは」

教職員育成の前提として、教職員間のコミュニケーションが豊かであることが重要

バーナード「組織の3要素」

- 共通目的（ゴールとビジョン）
- 貢献意欲
- コミュニケーション



- ・ 教職員は、具体的な行動を通して貢献しようとするモチベーションをもっていますか？

「若手教員の育成できる学校組織のあり方とは」

教職員育成の前提として、教職員間のコミュニケーションが豊かであることが重要

バーナード「組織の3要素」

- 共通目的（ゴールとビジョン）
- 貢献意欲
- コミュニケーション



- ・ 教職員は、対話を重ね、学び合い、支え合う関係になっていますか？

「若手教員の育成できる学校組織のあり方とは」

教職員育成の前提として、教職員間のコミュニケーションが豊かであることが重要

バーナード「組織の3要素」

- 共通目的（ゴールとビジョン）
- 貢献意欲
- コミュニケーション



- ・ 教職員は、対話を重ね、学び合い、支え合う関係になっていますか？



職員室を居心地よく気楽に話せる空間へ

全ての児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す「学びの変革」の“深化”へ

3分間ダイアログ

新年度、どんなことに取り組もうと思いますか？

令和6・7年度「学びの変革」の“深化”

「**学びの変革**」の“**深化**”とは、第一期から第三期までの取組を基にしながら、児童生徒の実態に応じて、創意工夫したカリキュラムを実施するなど、**各学校が更に主体的に**
全ての児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に
向けて取り組んでいる状態を指す。

